

主の御名を賛美します。

『わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。』

(詩篇 103:2)

震災から七年目に入りました。時がたつにつれ、人々の記憶も薄れていきます。

改めて、神様が、どのようにして「石巻宣教」を導いて下さったのか、また、愛の支援が、どのようにして用いられてきたのか、神様の恵みを数えながら、これまでの歩みを記録として残す必要を感じました。

「主の良くしてくださったこと」を数えながら、神様の愛と恵みに感謝したいと思います。

来年には、ほとんどの仮設住宅が閉鎖され、復興住宅への転居や自宅再建により、今までの支援活動を通じて知り合った方々が渡波から離れていかれます。この大きな変化の中で神様はどのようなことをなさってくださるのか、祈りと期待をもって励みたいと思います。

石巻宣教のはじまり (1)

高橋明美

こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。

その中で一番すぐれているのは愛です。 I コリント 13:13

2011年3月11日 午後2時46分 未曾有の大地震が東日本一帯を揺らし、その直後沿岸地域は千年に一度という大津波に襲われました。

愛する人を、家を、日常を一瞬にして失い泥水に濡れた衣服のまま、雪の舞う寒い夜を明かされた方々…。その様な中、被災地教会として仙台福音自由教会は日本のみならず、世界中のキリスト教会の被災地支援の拠点として神様に用いて頂きました。

4日後の3月15日にはJIFHが現地入り、10日後の3月21日には協議会災害対策本部関東チームが支援物資をトラック2台に満載して到着したのを皮切りに全国から続々と祈りと愛の込められた物資が送られてきました。

また、物資到着当日21日の深夜には被災地支援ボランティアチーム第一陣が新潟経由で到着。

翌日には、陸前高田への被災地物資支援活動が開始され、この遠隔地支援活動と同時に、仙台教会では二つの働きが始まりました。

背景にあったのは全国から送られてきた支援物資をひとつも無駄にしたいくない、被災された方の元にお届けしたい、という思いです。

一つは支援物資受渡所を設け、訪れた方々へ物資を配布する働き(来訪者360人)、もう一つは近隣住宅地を一軒ずつローラー作戦で訪問配布する働き(約1200軒)でした。

このような中、4月5日に石巻出身の姉妹と娘さん、牧師夫人の3人が車に物資を積めるだけ詰め込み石巻に初めて向かいました。その時の記録には『大街道地区は海の方に向かうほどに津波の被害はすさまじく、軒先まで泥やがれきに覆いつくされ、庭に車が突っ込み、屋根にはドラム缶が乗っていた…』と記されています。

この日の訪問から、石巻支援活動が神様によって動き始めました。広場を見つけ、ガラスの破片やがれきをかたづけ、ブルーシートを広げて支援物資を並べ手渡す活動と共にコーヒーコーナーを設け傾聴活動を重ねました。

支援の場所も徐々に津波被害の大きかった渡波(わたのは)地区へと導かれ、その中のひとつが牡鹿半島の入り口、万石橋たもとにあるタカヤス商店でした。店から万石橋に向かって長蛇の列ができた物資配布、周辺地区への戸別訪問物資配布。タカヤス商店の青い店舗と駐車場は仮設住宅での支援活動に移行した後も、炊き出し支援、クリスマス、夏祭り、関東合同婦人会の会場と店主の高橋夫妻の御厚意で何度も利用させていただきました。

そして、2011年8月末に仮設住宅での戸別訪問がスタートしました。その二回目、それまでの支援活動日はいつも天候が守られていたのですが、初めての雨、それも土砂降り。しかし、これは恵みの雨でした。土砂降りのおかげで集会所をお借りすることが出来、物資配布と楽しいビンゴゲームという仮設住宅集会所支援活動に移行するきっかけになりました。

またこの渡波地区には小規模仮設が点在しており、小規模ゆえに支援の手が届いていないことも分かり、翌年2012年にはこれらの仮設住宅を順番に訪問させていただく活動へと導かれていきました。(次号に続く)



[2011年4月タカヤス商店]



[2017年4月タカヤス商店跡地]

あのひどい揺れと津波にもかかわらず、ビール瓶1本しか壊れなかったという海沿いのタカヤス商店でしたが、場所は、「石巻市災害危険区内」なので、建物は、2017年4月に取り壊されました。確実に、時がたっていることを感じさせられます。

《教会案内が出来ました》

5月22日(月)シンガポールから9名の兄弟姉妹たちが来て下さり、約1500枚の教会案内とトラクトを渡波地区に配布することが出来ました。とても励まされ、主に感謝しました。順次、残りの約3500枚の教会案内を渡波地区に配布しますので、教会案内が、神様を求めている方々の所に届き、用いられるようにお祈りください。

徳川家康は、「人の一生は、重きを負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。」と語りました。

イエス・キリストは、あなたに『すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。』と語りかけています。(聖書：マタイ11章28節)



あなたの町のあなたの教会 **石巻福音自由教会**
 ※初めての方でもお気軽にお越しください。

〒986-2111 石巻市三和町6-3 電話&FAX 0225-25-1705

牧師/高橋勝義 顧問牧師/栗原延元 ウェブサイト <http://ishinomakiefc.com>

※当教会は伝統的なプロテスタント教会です。ものみの館(旧)の証人(統一教会・モルモン教)などの団体とは関係ありません。

「あしあと」

マーガレット・F・パワーズ

ある夜、わたしは夢を見た。
 わたしは、主とともに、なごきを歩いていた。
 暗い夜空に、これまでのわたしの人生が映し出された。
 どの光景にも、砂の上にふたりのあしあとが残されていた。
 一つはわたしのあしあと、もう一つは主のあしあとであった。
 これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、
 わたしは、砂の上のあしあとに目を留めた。
 そこには一つのあしあとしかなかった。
 わたしの人生でいちばんつらく、悲しい時だった。
 このことがいつもわたしの心を乱していたので、
 わたしはその悩みについて主にお尋ねした。
 「主よ。わたしがあなたに従うと決心したとき、
 あなたは、すべての道において、わたしとともに歩み、
 わたしと語り合ってくださいと約束されました。
 それなのに、わたしの人生のいちばんつらい時、
 ひとりのあしあとしかなかったのです。
 いちばんあなたを必要としたときに、
 あなたが、なぜ、わたしを捨てられたのか、
 わたしにはわかりません。」
 主は、ささやかれた。
 『わたしの大切な子よ、
 わたしは、あなたを愛している。
 あなたを決して捨てたりはしない。
 ましてや、苦しみや試みの時に。
 あしあとがひとつだったとき、
 わたしはあなたを背負って歩いていた。』



《集会のご案内》

【日曜礼拝 毎週日曜日】

午前10時30分～11時45分

【祈り会 毎週水曜日】

午後7時～8時30分

【お茶っこ会】第一水曜日

午後13時30分～15時

【聖書の学び】第二、三、四水曜日

午前10時30分～11時30分

※どなたでもご自由にお越しください。
 お待ちしております。



《6月・7月の予定……お祈りください》

6月22日(木) サフランの会

(香港チームによる賛美と中華料理を楽しむ会)

7月5日(水) 第4回 お茶っこ会

※4月から近所の方々を招いて「お茶っこ会」を始めました。毎回7名位の方が集っています。

7月13日(木) KAS サマーコンサート

?私が弱いときこそ、私は強いから? (聖書)

KAS

Summer Chapel Concert 2017

ソプラノ 下内愛子
 ハリで信仰を共にした3人のクリスチャンによるコンサート

ピアノ 東 桂子
 ムジカセージ 広瀬志保

石巻福音自由教会
 入場無料
7/13(木)
 開場 10:00
 開演 10:30

あなたの町のあなたの教会
石巻福音自由教会
 礼拝：毎週日曜日午前10時30分～11時45分
 石巻市三和町6-3
 JR石巻駅南口徒歩5分
 長巻峠地蔵堂まで
 0225 (25) 1705
 牧師 高橋 勝義
<http://www.ishinomakiefc.com>

※当教会は伝統的なプロテスタント教会です。ものみの館(旧)の証人(統一教会・モルモン教)などの団体とは関係ありません。